昭和16年5月1日

一、連絡懇談會開催予定ノ所松岡外相風邪ト称シ延期ヲ申出デ取止ム
外相臥床中成ニ劃策シアルベシ
二、大勢未ダ不動 静中動ナリ
新聞紙上對米國交調整ノ噂散見スルニ至ル

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年2月5日

一、外相尚臥床中
二、第二十班閉散ナリ
三、「イラク」對英武力行使ニ出ヅ
大英帝國ノ敗勢歴然タリ

機密戦争日誌　第二十班

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年5月3日

一、午後一時ヨリ待望ノ連絡懇談會開催
外相對米中立條約提案ヲ先ツ發言
全員不同意
外相執拗ニ主張シ輕ク打診(大使ヲシテ)セシムルコトニ強引ニ押切ラルルガ如シ
次デ諒解案ニ對スル修正意見ニ付外務案ヲ中ベトシテ審議概ネ外務案通リ決定ス
外務案ハ陸海軍案ヨリ更ニ強硬ナリ
外相ノ本件ニ關スル指導精神左ノ如シ
イ、支那事變處理ニ寄與スルコト
ロ、三國條約ニ抵觸セザルコト

0393

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和　年　月　日

3、國際信義ヲ破ラザルコト

右意見陸海軍案ト全然同意ナリ

機密戰爭日誌　第二十班

0394

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和　年　月　日

右意見陸海軍案ト全然同意ナリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年5月4日

一、朝來大雨風強シ

二、第二十班大風一過閑散ナリ

機密戰爭日誌　第二十班

0396

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年5月5日

一、外相早速野村大使ヲシテ中立條約打診方ヲ打電セシメ併セテ「バル」宛口頭メッセージヲ發ス

外相ノ外交機動活潑ナリ

二、新聞紙上對米調整ノ論調盛ントナル

三、川村大尉陸大受驗開始

0397

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年6月5日

一、米ノ援英哨戒ヨリ「コンボイ」ニ進ムノ勢アリ
参戦必至ノ新聞論調激化シツヽアリ
二、「ヒットラー」「ルーズベルト」相呼應シテ演説
両雄飽ノ迄戰フノ意圖ヲ明ニス
「バル」ノ對記者談對日露骨内容ナシ
三、米ヨリ返ナシ　平靜ナリ
四、日佛印經濟交渉調印成ル
帝國ト佛印トノ經濟緊密化遂ニ結ブ
某出度〈

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和15年5月7日

一、岩畔大佐大臣宛電アリ

1、交渉ハ速ニ進ムル必要アリ　然ラザレバ米ハ遂ニ参戦ニ至ルベシ

2、「ルーズベルト」ハ目下何事ヲモ為シ得ル地位ニ在リ

3、諒解案ニ関知シアルハ「ロ」、「ハ」、「ハッリス」郵務長官、秘書ニ過ギズ　秘密保持厳ナルガ如シ

4、「ハ」ハ下僚中不同意ナルモノハ首ヲ切ルト云フ

5、「フーバー」ト會談セル所　要スレバ一肌ヲ脱ブベシト云フ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和　年　月　日

6、外相目下盛ンニ風船玉ヲ揚ゲ居ルガ如キモ却ツテ有利ナラズ　米ノ感情ハ益々悪化シアリト

又「ハル」、「ハル」共ニ松岡ヲ信用シアラズ

二、右電報陸軍省大臣ヨリ總長次長ヘ移ス

下僚ニハフレシメズ

三、獨伊ニハ日曜　坂本政亞局長ヲシテ當方意図ヲ傳達セシメタルガ如シ

「オット」ハ感謝シ米英戦阻止ノ為ニハ妙ナベント述ベ伊大使ハ全然不同意ヲ唱フ

0400

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年8月5日

一、十一時ヨリ連絡懇談會開催

外相其ノ後ノ狀況ト之ニ對スル意見ヲ述ブ

外相ノ眞意ハ要スルニ米ヲシテ參戰セシメザルコトニ在リ諒解案ハ第二義的ナリ

諒解案取付ケテモ參戰阻止ニハ役立タズ

更ニ強氣ニ參戰阻止ニ出ヅルヲ要ス又參戰阻止ニ役立ツガ如キ諒解案タルヲ要スト云フニ在リ

陸海軍ハ稍飛ビ付キ過ギルト云フ

正ニ然ラン 軍ハ武力戰ヲ考フル外相ハ大キク

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和　年　月　日

外交ヲ考フ若干ノ食ヒ違ヒアリ

二、外相米参戦ノ公算大ナリト云フニ對シ海相
ムラズシテ然ラズト云フ
参戦セル場合ノ取ルベキ態度ハ更ニ大ナル
波瀾ヲコヲ想ヒセラル

三、参戦セバ世界ノ文明ハ破壊セラレ戦爭ハ
絶對長期戦ナリ十年モセバ独ハソレヲ打チ
更ニアジヤニ出ツベシト外相云フ
右ノ場合ノ帝國ノ態度如何ト云フ他ノ諸
官返事スル者ナシ

四、外相ト統帥部(軍)トノ間ピッタリ行カ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和　年　月　日

ザル者アリ　外相独舞台ノ感アリ

五、機密漏洩ヲ恐ル厳ニ注意ヲ要ス

六、「イラン」敗勢決シタルガ如シ「イラン」亦誤テリ

0403

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年5月9日

一、獨武官ヨリ確カナル筋ヨリ承知スル所ニ依レバ昨日頃シ日米會談阻止セラレ度ノ具申電來ル然ラザレバ獨大使以下一同總退却ノ餘儀ナキニ至ルベシト

敢ヘテ近視眼利害ノ打算ニ過ギズト云フ或ハ然ラン或ハ然ラザルベシ要ハ對米調整ストモ帝國自体ノベ掛ノミ

「サイ」ハ既ニ投ゼラレアリ今更云フテモ既ニオソシ（西郷中佐洩ラシタルニ因ルナラン）

二、在米大使及武官ヨリ返事アリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

中立條約ハ至難ナリ速ニ諒解案ニ進ムヲ要スト

三、泰佛印、平和條約正式調印終ル

茅出度〳〵

四、陸海両相松岡ト會談シ獨ノ返事ヲ待ツコトナリ速ニ對米修正案ヲ米ニ通知スルヲ可トスル旨述ブ外相今夜若クハ明朝打電スベキヲ回答ス

五、總長大臣ト會談独武官ノ朝ノ電ニ對シ左記骨子ノ回答ヲナスニ打合セル

「米ヲ參戰セシメズ且支那事變ヲ解決

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

九、石川海軍軍務課長ト松岡ト會談セルカ
如シ（十二日午後六時右情報入手）
席上松岡ノ意見左ノ如シ
了解案ハ俺ハ大イニヤル
但シ俺ノ筋デナケレバヤラヌ
先般上奏シタル際三國條約ト日獨條
如何ノ御下問アリ三國條約ハ抵觸
セズ抵觸スルガ如キ了解案ハ取付ケ
ズト申上ゲテアルヨッテ陛下ノ御思召
ノ如クナルカモ知レズト（右ハ飽ク迄外
相ノ考ニ依ル了解案ヲ進ムル意味

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和　年　月　日

ヲ云ヒタルヤ外相ノ意ニ反スルガ如キヲ強制セラルヽナラバ職ヲ去ルベキヲ暗示シタルヤ不明

第二部長ハ右ハ外相ノ謀略ナルベシト

一、外相野村ニ修正案ニ基ク訓令ヲ打電ス

予メ内答ヲ打電シ正午迄独ノ返事ヲ待ツテ交渉開始ヲ命ゼントシタルモ返事ナク已ムナク茲ニ野村宛正式交渉開始ノ命令ヲ下ス

米ハ大統領十四日演説ス　右電報ノ反響ハ演説ニ現ルベシト

危機一髪誠ニ電撃外交戦ナリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和　年　月　日

機密戦争日誌　第二十班

シ國力ヲ恢復スル三國條約ニヒビヲ入レズ」ヲ條件トスル米ノ提案ニ對シ目下研究中ナリ。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年5月10日

一、イラク援助方法ニ關シ省部關係課長審議ス 歐米課長武器援助ヲ相當ニ主張シタルモ大勢ハ不同意
援助ハ希望スルモ帝國ニ其餘裕ナシ
武器輸送モ實際ニ於テ不可能ナリ
結論ニ達ス

二、第二課長、軍務課長、田村武官ノ意見ヲ一途ニ過信シ南佛兵力進駐案ヲ省部内ニ強調ス 當班不同意ヲ唱フ
次長モ亦目的不明確ナル用兵絶對反對ナリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

三、北支方面軍ノ百靈作戰逐次成果ヲ收メツヽアリ、
第十一軍モ新作戰實施ス
第十三軍ノ杭州南方作戰一時非常ニ苦戰シタルモ予期ノ如ク作戰進捗シツヽアリ
對支武力戰昨今漸ク活氣ヲ呈シアリ
事變處理ニ幾何ノ效果ヲ及ボスヤハ疑問ナリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年5月11日

一、米參戰ノ氣運逐次濃化シツツアリ
外相如何ナル工作ヲ進メツツアルヤ不明
當班亦平靜凝視シアリ

二、「スターリン」首相トナル
「モロトフ」外相專任
其眞意如何

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年5月12日

一、參謀長會議開催セラル

二、米參戰セル場合並獨ソ開戰セル場合ノ帝國ノ態度ニ關スル件一案ヲ得テ各方面ノ意見ヲ求ム

三、米參戰ニ伴フ國際法上ノ諸問題ニ關シ日高書記官ニ下囑託ニ研究ヲ要求ス

四、泰佛印ニ對スル施策ノ具現方策一案ヲ得テ各方面ニ意見ヲ求ム

五、米參戰ヲ中心トスル情勢ノ判斷第二部長主催ニ班長出席ス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和　年　月　日

六、米參戰ノ氣運激化ス　再三ニ亘リ
在米大使、武官ヨリ速ニ了解案ニ沿フ
國交調整訓令ヲ下サルベキヲ要請シ來ル
外務省右電報九日着ナルニカ、ハラス本十二
日ニ至リ軍ニ回送シ來ル右電ニハ對米
國交調整ノ好機既ニ去リツツアルヲ強調
シアリ
七、果シテ然ルヤ
大使ヨリハ日米關係ニ關シ長文ノ意見
來ル
八、午後五時ヨリ連絡懇談會開催セラル

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年7月13日

一、獨副總統「ヘス」精神異狀ニテ英ニ不時着ス奇々怪々
和平謀略カ「ヘス」自身ノ逃避カ精神異狀カ不明

二、獨ヨリ返事來ル長文二十四枚ニ亘ル

三、米大統領果然十四日ノ演說ヲ二十五日頃ニ延期ス交渉ノ前途有望ナランカ

四、獨、伊、ソ三巨頭會談說新聞報アリ

日、獨、伊、ソ四國同盟成ルカ

五、獨佛交渉進捗ス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和　年　月　日

六、情勢ノ轉回眞ニ走馬燈ノ如シ

七、米參戰ニ伴フ態度陸軍省意見來ル

省部ノ正式意見一致ヲ急グ

八、獨武官ヨリ獨ソ開戰必至ト下調査

團ノ帰國ヲ急グヲ可トス（獨第二部長

西郷中佐ニ話ル）ノ電アリ

獨ソ開戰ニ伴フ帝國ノ態度省部ノ

意見ヲ求ム　陸軍省意見來ル

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年5月14日

一、大島、堀切両大使ノ「ローマ」會談ノ外相ト英、米大使トノ會談等外交機動活潑ニ行ハル

二、米ヨリ返ナシ目下接渉中ナラン

三、米參戰ニ伴フ帝國ノ態度部長會議開催先ツ米參戰ノ情勢判断ヲ審議ス

四、對佛印泰軍事協定今後ノ進方一應思想一致ス

陸軍省ノ意嚮外務省ト事務的接衝ハ絶對不可能ナリ連絡懇談會

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和　年　月　日

席上ノ正式發言ヲ不可
結局内面工作（外相ニ對スル）ノ他ナシ

0417

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年5月15日

一、十一時ヨリ連絡懇談會
對米國交調整其後ノ狀況ニ就キ独ノ返事ヲ中ベトミテ外相説明ス
独ノ返事ハ概ネ同意ニアルガ如キモ芳シカラズ
二、「獨ソ」開戰ノ情況判断部長會議開ノ
「獨ソ」遠カニ開戰セザルベシト判断ス
三、「獨ソ」個人ノ独断ニテ和平交渉ニ乗リ出セルモノヽ如シ
果シテ個人ナリヤ「ヒ」ノ意圖ヲ奉ジアラザルヤ疑問ナリ
海軍側ニハ帝國ノ對米國交調整ノ企

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和　年　月　日

圖知ヤ直チニ「ビ」ハ和平交渉ニ決ベシタル
ニアラズヤト云フ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年5月16日

一、本多大使着京彼何ヲナサントスルモノナリヤ不明嫌ナラ手ヲ引クヲ可トスベシ
陸軍ニテヲ引ク様ナ在支大使ハ任務遂行不可能ナリ
二、第一部長澄田機関機構ノ改變ヲ次長ニ具申セルモノ如シ
第三課長以下主任者モ知ラズ第二、三課ノ對立不可ナリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年5月17日

一、「土」武官ヨリ日米問題ノ件懇會シ來ル
機密確保ノ至難ナルヲ痛感ス
校西武官ヨリ洩レタルナラン
二、右ニ對シ第二部長起案ガ「ル風説ニ
耳ヲ籍スナカレ」ト打電ス

0421

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年5月18日

機密戦爭日誌　第二十班

一、對米英戰爭指導要綱第二十班案成ル

二、午後海軍大野大佐小野田中佐ト當班

角力見物後會食ス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年5月19日

一、世界情勢ノ推移ニ伴フ國防國策要綱第二十班案成ル

二、「ビルマ」ニ支那軍進入セル場合ノ帝國ノ見解ヲ研究スル右支那軍ニ對シ武力行使スルモ正當ナリ

三、独ノ「土」通過成ル「シリヤ」對英武力反抗ノ新聞報道アリ

四、北支軍有末大佐報告
苦力問題、船舶運營ノ強化
徐海道帰屬問題

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年5月20日

一、獨武官大使ヨリ目下ノ所英獨和平ノ氣運ハ認メ得ザルモ日米妥協セバ其公算増大スベシノ電アリ

二、國際法ノ研究成ヒ十ヶ

國際法上對支壓力加重ノ手段如何

領空封鎖ノ方策無キヤ

三、無策大策ノ諦觀ニ甘ンズベシ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年4月22日

一、青年學校生徒ニ對スル御親閲奉行セラル

二、連絡懇談會開催

例ニ依ッテ外相ノ獨舞台ナルガ如シ

外相云フ對米妥結ハ三分ノ公算ナリ

シンガポールヲ攻略スベシト

外相ノ云フ事爲ス事常ニ軌ヲ逸シアルガ如キ感アリ海軍相手ニセザル氣運アリト困ッタモノナリ

三、軍務課案大本營機構改正ニ關スル意見交換アリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和　年　月　日

四、ペレリュー島獨軍攻撃有利ニ進捗ス

機密戰爭日誌　第二十卷

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年7月23日

一、大島大使ヨリ外相（両大臣、両總長、首相ノミニ配布）宛秘電アリ

外相ハ渡歐ニ方リ「リッペン」ニシンガポール攻略ス獨ソ戰ヘバ日本起ツト云ヒタルガ如シ（リッペンノ言）

大島大使立場ニ困リタルト見エ「ヒットラー」ハ米參戰セザル條件デ日米調整ヲ認メタルガ如シ「リッペン」松岡ニ大イニ不滿アリ

二、第二課長南仏兵力進駐ヲ盛ニ主張シ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

アルガ如シ理想ト現實トノ錯覺ヲ如何ニスルヤ

三、部長會報ニ於テ總長　松岡ガシンガポールヲ「シンガポール」トヒアルヲ以テ或ハ之ガ攻略ト云フ事ニナル事シマア期セザルベカラズト云フ

總長堅確ナル意志、指導精神ナキニアラザルヤヲ疑フ

四、川村大尉結婚式

班長以下披露宴ニ出席ス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和 16 年 5 月 26 日

一、特時二日米會談件ボツ〳〵現ハル
大体ニ於テ機密ハ洩レタリ
二、米ヨリ返事未着ナルガ如シ
三、第二十班平静ナリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

一、對南方施策要綱ノ廟議決定ヲ急グベシノ件第一部長、次長モ同意
松岡對米交渉成功ハ三〇%ナリト云フ
海軍ハ彼ニ熱意ナシト觀察シアリ
二、第二課主催南方作戰準備ニ關シ省部主任者ノ懇談會開ク
戰爭企圖、作戰企圖ヲ暴露シ不同意ナリ
本件機密保持最モ嚴ナルベキ第二課部員ニシテ然ルハ遺憾トス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

日　月　年　和昭

0431

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年5月28日

一、獨戰艦「ビスマルク」號遂ニ撃沈セラル
英艦隊ヤツキノ戰闘亦賞スベキモ大人ゲナシ
二、米大統領ノ爐邊閑談放送ス
所說軟調ナリ
コンボイ」ニハ觸レアラス
日米會談ニハ觸レアラス（直接）以テ有望ナルヲ
察シ得ベシ
三、特暗英大使發電ニ依レバ野村大使ハ英米離
間者ナリト　英亦日米會談ヲ以テ日本ノ英
米離間ノ謀略ナリト警戒シアリ
四、海軍　海軍記念日ヲ好機トシ大イニ海軍宣傳

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和　年　月　日

ニ焉カヲカノ
海軍報導部長ノ講演朝刊紙上ヲ飾ル
米參戰ノ場合並受動ノ場合ニノミ海軍ハ斷然起ツ
ベシト云フ
國民ニ對スルカケ聲ハ可ナルモ實際ハ然ラズ　米海
軍ヲ恐ルルヤ　帝國海軍ヲ愛スルノ餘リナリヤ
皇國ヲ愛スルノ熱情ニ出ヅルヤ　其眞意不明ナリ。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年5月29日

一、恒例連絡懇談會開催
總長出席直前　陸軍省ヨリ電話アリ
外務省國民政府育生強化ニ關スル緊急措置ニ
關シ提議スルト云フニ付本件ハ先ツ興亞院會議
ニ於テ審議スヘキモノ連絡會議席上ノ審議ヲ阻
止セラレ度ト
右本多大使ノ進言ナラン外相突如提議ハ怪シ
カラズ
二、對重慶圧力強化方策(案)ヲ起草シ關係課ニ
意見ヲ求ム
案ノ骨子ハ封鎖ノ徹底ト無差別爆撃トニ在リ
三、情報ニ依レバ外相對奏及佛印軍事協定締結

0434

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和　年　月　日

ニ私ニ馬力ヲカケアリト　大イニ好シ
統帥部トシテハ當分見送ルベシ

0435

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年5月30日

一、九、二八價格停止令解除ノ新聞報アリ
企劃院、軍ハ不同意ナリ　連絡ナキ事務的發表
不可　責任ヲ糾斷スヘシ
當局者タル物價局知ラヌト云フ　物價局長ノ談
話新聞ニ掲載セラレアルニ右ノ如キ責任回避ハ
絶對不可ナリ

二、外相談トシテ日米妥協ニ關スル「デマ」紛碎ノ發
表聲明アリ
國内ノ對米國交調整ヲ遶ル相剋摩擦逐次
劇化シツツアリ
財界「ジャーナリズム」等之ニ贊意ヲ表スルモノ多シ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和　年　月　日

右翼右ニ反ス

三國條約破棄ヲネラフ英米ノ謀略的攪乱

大イニ戒慎ヲ要ス

三、外相ハ工作ニ熱意ナキカ如ク海軍ト近衛ハ熱意アリ

両者ノ對立モ豫想セラレザルコトナシ

連絡懇談會席上外相外交無統制ノ責任ヲ

感シ辞意ヲ洩ラス

外相ノ眞意遽カニ信シ難キモ現下ノ情勢ニ旅ヲ

近衛ト松岡陸軍ト海軍ノ對立ハ絶對ニ回避セ

サルベカラズ

目下ノ所表面ハ陸海ノ對立ハナシ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和　年　月　日

四、夜小野田大佐ト懇談ス　種村、原出席ス（水交社）
米參戰ニ伴フ帝國ノ態度並對重慶圧力強化方策ニ就テ主トシテ懇談ス
米參戰ノ場合海軍ニハ武力行使ノ意志絶對ニナシ　下條ハイザ知ラズ　海軍上層部ニハ三國條約ナド眼中ニナキガ如シ
海軍ニハ上層部トシテ軍事參議官、侍從長、岡田大將等黒幕的存在アルラシク　甚ダ以テ不可解ナリ
海軍昆明作戰ヲヤレト云フ陸軍ハ海上封鎖ヲヤレト云フ
兩者ヨツクリシテ對支圧迫ニ邁進スルノ氣分ナシ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年5月31日

一、對重慶圧力強化方策第一部ノ意見ヲ入レ第二案成ル　陸軍省主任者ニ移ス

次長モ右必要性ヲ痛感シアルガ如シ

第一部亦然リ

二、野村大使電アリ

米國ノ態度未タ決定セズ　日時ノ經過ト共ニ了解案ノ成立ハ逐次困難トナルベシ

野村大使ヨリ正式提案アリテヨリ既ニ一ヶ月半機会ハ既ニ洩レ國内ニ「デマ」飛ヒ現状ト保守　親独ト親英、右翼全体主義ト自由主義等々ノ對立騒然タルモノアルヲ感取セラル

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp